

頌子 大久保

客員外国弁護士, シカゴ

312.245.7500

シカゴ

203 N. LaSalle Street

Suite 1700

Chicago, IL 60601

大久保頌子弁護士は、日本有数の大手法律事務所であるアンダーソン・毛利・友常法律事務所から招聘された客員外国弁護士である。大久保弁護士は、米国の法制度やビジネス環境に関する理解をさらに深めるため、増田・舟井法律事務所に加わった。専門分野は、クロスボーダーおよび国内のM&A（合併・買収）、企業再編、その他の戦略的ビジネス取引である。

大久保弁護士は、買収、公開買付け、株式交換、海外上場、買収後の再編など、幅広い複雑な案件についてクライアントに助言を行っている。また、日本、米国、欧州、およびアジア各国にまたがるクロスボーダー取引において豊富な経験を有している。

大久保弁護士のクライアントは、自動車、製造、テクノロジー、消費財、食品・飲料など、多岐にわたる業界で事業を展開している。大久保弁護士は、多国籍企業、投資家、事業主に対し、企業の将来を左右する重要な取引の遂行や、戦略的な成長施策の推進を常時支援している。

M&A業務に加え、大久保弁護士は労働・雇用問題、規制遵守、および一般的な企業法務についてもクライアントに助言を行ってきた。キャリアの初期には、航空・船舶ファイナンス取引の分野で経験を積み、航空会社、金融機関、リース会社、投資家を代理して、高度な資金調達スキームに携った。

大久保弁護士は日本における弁護士資格を有しており、第一東京弁護士会の会員である。また、2022年から2026年にかけて『*The Best Lawyers in Japan: Ones to Watch*』に選出されている。



Education

慶應義塾大学卒業, J.D.

カリフォルニア大学ロサンゼルス校,
LL.M.

Admissions

日本

Practice Areas

コーポレート／ファイナンス／M&A

Languages

日本語

英語

Memberships

- 第一東京弁護士会